

みずほ

瑞穂池

第14号 (発行: 2011.12.24)

もりへ出かけよう! No.14

この「あと」だ～れだ? ～冬のお楽しみ～

冬の森はあたり一面真っ白になりますが、雪があるからこそ、この時期限定の楽しみがあるんですよ!

雪の上に残る「あと」は、誰が残したものかな? 何をしているのかな? な～んて、推理する楽しさがあります。ふだんはなかなか姿を見ることが出来ない森の生きもの達を、より身近に感じることが出来る季節なんです♪



冬ならではの出会い、楽しみがある
～野幌森林公園～

冬の野幌森林公園内で見かける「あと」です。
誰が残したものか、わかるかな? 線をつないでみよう!



※注: イラストの大きさは正確ではありません

全部わかりましたか?

この他にも雪の上に残る様々な「あと」から、色々想像しながら散歩してみると、冬の森をより楽しむことができますよ! (※正解は2ページ下にあります!)

～文・イラスト: 普及啓発員 扇谷 真知子～

冬も自然を満喫！ 冬のオススメイベント！

～冬の森はどんな森？ 観察会参加して冬ならではの“出会い”を見つけませんか？～

観察会 「はじめてのかんじきウォーク」

日時：2月2日(木)
10:15～12:30



西洋かんじき(スノーシュー)を履いて開拓の村前から瑞穂の池を目指して歩きます。スノーシュー初心者の方に、オススメな観察会です。

観察会 「冬の森の観察会」

日時：2月12日(日)
10:00～12:30



深い雪に覆われた森ですが、生きものたちは活発に活動中！そんな冬ならではのお話しを聞きながら、真冬の野幌の森を満喫しませんか？

親子観察会 「冬の森の探検隊 IN 開拓の村」

日時：2月26日(日) 10:15～12:30



野幌森林公園の一角にある開拓の村で、昔の建物を眺めながら、普段歩くことが出来ない森の中を親子で探検！どんな出会いがあるかお楽しみに！

もりの工作コーナー 「おえかきコースター」

日時：1月7日(土)～2月12日(日)
開館中毎日 9:30～16:30



シラカンバなどの木の板に好きな絵を描いてオリジナルのコースターを作りませんか？

これらイベントの概要またこの他のイベントはこちらでご確認を

～自然ふれあい交流館の冬イベントスケジュール～

事名	開催日時	集合(実施)場所	備考
もりの工作コーナー 『おえかきコースター』	1月7日(土) ～2月12日(日) 開館期間中毎日	自然ふれあい交流館	定員：どなたでも参加可 当日随時受付 ※平日の月曜は休館
観察会&ミニスライド会 『冬の楽しみ方』	1月15日(日) 10:00～12:30	自然ふれあい交流館	持物：防寒服、昼食持参自由 定員：先着15名 ★申込必要(12/16～受付)
観察会 『はじめてのかんじきウォーク』	2月2日(木) 10:15～12:30	集合・解散 北海道開拓の村前	持物：防寒服、昼食持参自由 定員：先着10名 ★申込必要(1/4～受付)
観察会 『冬の森の観察会』	2月12日(日) 10:00～12:30	自然ふれあい交流館	持物：防寒服、昼食持参自由 定員：どなたでも参加可 当日受付 ※道民カレッジ連携講座
親子観察会 『冬の森の探検隊 IN 開拓の村』	2月26日(日) 10:15～12:30	自然ふれあい交流館	持物：防寒服、昼食持参自由 定員：親子10組20名 ★申込必要(1/27～受付)
もりの工作コーナー 『小枝 DE アート』	3月17日(土) ～4月8日(日)予定 開館期間中毎日	自然ふれあい交流館	定員：どなたでも参加可 当日随時受付 ※平日の月曜は休館

各行事の申込・詳しい内容はこちらへ … 自然ふれあい交流館 TEL：011-386-5832

多少の天候不順でも観察会は実施しますので、防寒着を必ずご準備ください。また、料金の記載がない行事は、参加無料です。不明な点などございましたら、お気軽に当館へご連絡ください。

自然ふれあい交流館ホームページでもイベントをご案内しておりますのでそちらもご覧ください。

～文：普及啓発員 松井 則彰～

～この「あと」だ～れだ？(表紙)の正解です～

①キタキツネ ②鳥の仲間 ③ユキウサギ ④ネズミの仲間 ⑤エゾリス

※足跡は一つずつを比べてもわからないこともあるので、全体の特徴をよく観察してみてください

もりの講演会「最近のエゾシカ事情について」



11月19日(土)、もりの講演会を開催しました。講師には、酪農学園大学の伊吾田宏正氏(農学博士、農食環境学群環境共生学類狩猟管理学研究室講師)をお招きして、「最近のエゾシカ事情について」というタイトルでお話いただきました。

エゾシカの生態やヒトとエゾシカの歴史、また最近の爆発的な増加の背景、そしてその対策への取り組み方など、スライドを使用しながら分かりやすく説明いただきましたが、受講者からの質問も相次ぎ、関心の高さが感じられました。

また、伊吾田氏の説明では、野幌森林公園もエゾシカの増加により危機的な状況であるそうです。確かに、野幌森林公園でも以前から目撃情報はありましたが、今年に入り交流館に寄せられるエゾシカが目撃情報が増えているように感じます。このままエゾシカが増え続けると生態系への影響も深刻とのことでした。大変驚きましたが、テレビや新聞で報道されているエゾシカ問題がとても身近な問題であることを実感しました。今後は、野幌森林公園のエゾシカ対策にも取り組んでいかなければならないと考えさせられた講演会となりました。

～文:普及啓発員 扇谷 真知子～

数字で見る野幌森林公園 その十三

Q. 野幌森林公園で確認されたある生きものたちの種類・・・

「154種類」

何の種類でしょうか？

A. 正解は・・・

鳥 類

野幌森林公園内で見られる野鳥は、一年中野幌森林公園周辺にいる「留鳥(りゅうちょう)」や、春に子育てのためにやって来て秋は南へ渡る「夏鳥」、そして北国から冬越しのためにやって来る「冬鳥」、渡りの途中に立寄る「旅鳥」などがいます。

季節を変えながら野鳥との出会いを楽しんでみるのも野幌森林公園を散策する魅力の一つです。

特に冬は、木々の葉がなく森の奥まで見通すことが出来て、野鳥の観察に最適です。防寒対策をしっかりと、野鳥たちにストレスを与えないためにも遊歩道から外れず楽しみましょう。

◆主な冬鳥
キレンジャク、ヒレンジャク、ツグミ、マヒワ、ウソ

◆主な留鳥
フクロウ、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、クマゲラ、ヤマゲラ、エナガ、ハシブトガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ

(参考資料: 村野紀雄 2000 野幌森林公園地域の動植物相 酪農学園大学紀要別刷第25巻第1号)

野幌森林公園の歴史 3rdステージ

今年、開館10周年 色々な出来事がありました

プレイバック交流館 II

～交流館開館から2・3年後のできごと～

自然ふれあい交流館は、今年4月、開館10周年。現在開催しているイベントは、タイトルは若干変わっているものもありますが、この10年間に行われていたイベントとほぼ同様のスタイルで実施しているとともに、皆様からのニーズなどで新たに始まったものもあります。また、継続は力なりといいますが、年々参加者も増えているとともに、参加される方の自然に対する意識も高まってきたように感じられます。引き続き、皆さまが交流館のイベントに参加いただけるよう、努力してまいります。さて今回は交流館オープンから2、3年目の出来ごとを振り返ります。

■平成14年

現在、記念塔連絡線にかかる橋「ふれあい橋」はこの年に完成。

全長約30mの長さで、この完成により記念塔から埋蔵文化財センターへアクセスしやすくなりました。

(カラマツ集成材が使用されています)



■平成15年

各関係機関と合同で公園内の美化清掃を実施。なんとタイヤ122本、テレビなどの家電製品等が回収され、8tトラック3台分の量になったとのことです。(下写真)

なお交流館では毎年、春・秋の2回、「ありがとう観察会」としてごみを拾いながらの観察会を開催しています。11月に開催した秋の観察会では、約1.6kgのゴミを回収。来春も開催する予定ですので皆様のご参加をお待ちしています。



自然ふれあい交流館 ニュース!

○歩くスキーコースのご案内

雪が積もり公園内がすっかり雪景色になると、歩くスキーを楽しまれる方の姿が多く見られます。

またこの時期は、歩くスキーのコースについてのお問い合わせも多数いただきますので、昨年(11号)に引き続き、野幌森林公園内の歩くスキーのコースについてご案内します。

歩くスキーのコースは、記念塔口から大沢口間の瑞穂連絡線、また大沢口から桂コース・大沢コース・エゾユズリハコースとそれぞれ野幌森林公園内を楽しむことが出来るよう設定されています。4km、6km、8kmなどと、体力に合わせて、お好みのコースを選んだりと楽しむことが出来ます。

なお、コースは園内の遊歩道でもあるため、散策している方もいらっしゃいますので、雪上の動物の足跡を探したり、野鳥を観察したりしながら、歩くスキーをごゆっくりお楽しみください。(夏と同様、冬でも遊歩道から外れないようにお願い致します)



○交流館内から野鳥観察をしませんか?



先ほどご紹介した歩くスキー同様、雪景色が広がる季節になると毎年、自然ふれあい交流館の前に餌台を設置します。

この餌台は、来館される方や冬の森を散策できない方などが自然に親んでもらえるように、また近隣の小学校が総合学習でも活用するために設置しています。

冬、来館された方々は、必ずと言ってこの餌台前に設置された館内の望遠鏡から野鳥を観察し、「あっ、森の中で見た鳥だ」「鳥をじっくり見ることが出来るのは良い」などと好評で、また子どもたちからは「初めて近くで鳥を見た」「かわいい」という歓声もあがります。

ちなみに、望遠鏡の横には、野鳥観察チェック表があり、来館者参加型の野鳥調査を行っています。皆さんも当館にお越しの際は、野鳥を間近に観察してみたいはいかがでしょうか?

※当館では、清掃や消毒など衛生面に配慮して餌台を管理し、また餌は人間が手を加えたものは与えていません。 ~文:普及啓発員 松井則彰~

野幌森林公園を利用する皆さんへのおねがい

- ☆動植物は見て楽しみましょう♪ ~公園内の動植物はとらないで下さい~
- ☆ゴミは持ち帰りましょう♪ ~きれいな公園を皆さんで楽しむためにご協力お願いします~
- ☆園内を歩くときは遊歩道から外れないようにしましょう♪ ~遊歩道脇にもたくさんの動植物がいます~
- ☆動植物を捨てない、持ち込まないようにしましょう♪ ~本来の自然に悪い影響を与えてしまいます~

野幌森林公園 自然ふれあい交流館

(みずほ 第14号 2011.12.24)

(発行・編集/ 指定管理者: 一般財団法人北海道開拓の村)

開館時間: 10~4月...9:30~16:30

5~9月...9:00~17:00

休館日: 毎週月曜日(祝日・振休の場合開館)、年末年始(12/29~1/3)

入館料: 無料

駐車場: 大沢口 約40台収容、無料

住所: 〒069-0832 北海道江別市西野幌685-1

電話: 011-386-5832

URL: <http://www.kaitaku.or.jp/nfpvc.htm> メール: nfpvc@kaitaku.or.jp

アクセス: 徒歩◇大塚駅より約30分

バス◇新札幌駅バスターミナル北レーン

JRバス(10番文京台循環線)乗車[文京台南町]より徒歩10分

夕鉄バス(12番文教通西行)乗車[大沢公園入口]より徒歩7分

